

カテゴリー	報道日	地区	ニュースソース	助産 News 掲載日
女性の病気	2010.1.13		産経新聞	
タイトル	子宮筋腫を切らずに治療できる			

子宮筋腫を切らずに治療できる治療器発売

GEヘルスケア・ジャパンは13日、子宮筋腫を切らずに治療できる超音波治療器「エクサプレート 2000」を発売すると発表した。同機は、MRI(磁気共鳴画像診断装置)で撮影した画像をもとに、子宮筋腫の場所を特定し、体外から超音波を照射して熱を加えることで、壊死(えし)させる仕組み。海外ではすでに導入実績があるが、国内での販売は初めてで、価格は10億円。全国の産婦人科を対象に販売し、初年度7台の販売を目指す。

子宮筋腫の患者は、35歳以上の女性の4人に1人がいるとされ、切開による全摘手術などを行うのが現状となっている。今回の機種を用いることで、患者は腹部を切らずに、3～4時間で、痛みもほとんどない状態で治療を完了できるとしている。